

北
海

校 友 だ よ り

第 4 8 号

2007年2月28日

北海校校友会事務局
札幌市豊平区旭町4丁目1の41
北海高校内 TEL841-1161
編集責任者 山 口 富 雄
編 集 者 由 岡 芳 隆



第51回文部科学大臣杯全国青年弁論大会
最優秀賞受賞祝賀会

◇全国青年弁論大会◇

松本さんが全国優勝

弁論部顧問 新田 修
高校15期

「おめでとう」の一言と共
にかわした祝福の堅い握手。
閉会式終了後、私の姿を見
つけるなり走り寄って来た松
本奈津美の目は涙で潤んでい
た。その涙に思わず胸が熱く
なり不覚にも男泣きしてしま

松本奈津美が見事全国優勝を
果たしたのである。
想えば長い道のりであった
顧問を引き受けて早四十年。

その間、この大会での成績は
準優勝が一回、優秀賞は三回
どうしても取らせたかった、
いや取りたかった賞なのであ
る。何故なら、この大会は数
ある全国大会の中でも、地区
・全道大会を勝ち抜いた上位
入賞者の中から高文連弁論専
門部が推薦した者だけが出場
できる大会で、夏の全国高校
総文祭と並んで非常にレベル
の高い全国大会であるからだ
弁論部は今年創部一〇一年
を迎えた。私はこの三月で定
年退職となるが、その最後の
年に念願の全国優勝の栄に浴
することができたのは、松本
奈津美本人の努力はもとより
多くの人の支えがあったれば
こそと深謝している。

った。その時の感動は今も鮮
明に心に残っている。

最後になるが、来年度から
は新しい顧問の下、新生北海
高校弁論部がスタートする。

日本弁論連盟主催、第五十
一回文部科学大臣杯全国青年
弁論大会が平成十八年十一月
十二日島根県で開催され本校
から出場した弁論部前部長・

校友諸氏には今後も変わら
ぬご支援とご協力を賜りたく
切にお願い申し上げます
ある。北海高校弁論部万歳！

(写真・前列左から二目が松本さん)

一層の御支援、御提言を

北海校校友会会長
(北中41期) 倭 昭 三



の動き・変化すべてについて
も言える事です。いわゆる普
遍化され宇宙形成の必然的な
見えざる背景になっていると
言えましょう。

的なものに、理論では解明不
可能な人生未知の法則から逃
れるわけには行きません。実
社会は静・動一如よろしく誠
に身の引きしまる思いです。
さて、こんな事を考え今年も
心して会長の責を履行してま
いります。

これからも校友会に皆様方
の一層の御支援と御提言をい
ただき、校友会維持発展の糧
といたしたく、こんな事とは
思うことがありましたら、な
んなりと遠慮なくお知らせ下
さい。取扱い結果は責任をも
って御連絡いたします。

北海高校に勤務して間もな
い頃先輩の諸先生から、校友
が社会の広範な分野で活躍し
ていることを誇りつつ、「北
海の最高の財産は卒業生」で
あると教えられました。私も
全くそう思います。卒業生が
最高の財産であるとするなら
ば、会員名簿は財産目録にな
ります。この財産目録のペー
ジをめぐる時、長くなつた北
海高校での教員生活の中で出
会った人間味あふれるすばら
しい校友、時にはホロ苦さを
思い出させる校友、そして鬼
籍に入りましたが終生忘れる
ことができない校友への思い
を私に甦らせてくれます。

皆様お元気ですか。
年代に関係なく夫々の健康
法を選んで精進しておられる
事と思います。

病氣と怪我の予測はできま
せんが、先ずは何よりも一日
一日の活動が無事息災である
ことを願って止みません。

そこで、あらためてこれ等
に有効な対策方法となりませ
んと千差万別、到底つかみきれ
るものではなく、なかならず
陰陽の説ならぬ何かしら運命
的な介在があつて、万物は流
転して止まず、永遠にはかり
知れない流れというか要因に
支配されていると言つても過
言ではなく、当然、森羅万象

〈ご挨拶〉

大いなる飛翔を願つて

校長 杉本和紀



高校59期生の御卒業にお祝
いを申し上げます。

皆さんはこの北海高校で、

勉強は勿論のこと、様々な活
動を通じて、時にはたくさん
の挫折を経験しながらも、間
違いなく人間として大きく成
長を遂げて巣立ちの時を迎え
ました。新校友として大きく
飛翔されることを心からご期
待申し上げます。また、先輩
校友の皆様には様々な場面で

後輩との出会いがあることと
思いますが、温かく迎えて下
さるようお願い申し上げます。
昨年、校友の会会員名簿が、
昨今の個人情報保護の観点か
ら情報の流失に最大の注意を
払いつつ発刊されました。
新校友を含めて卒業生総数
は三万五千人を越えました。

今、学び舎を巣立つ皆さん
を迎える社会は、変化が激し
く、決して優しい社会でない
ことは確かです。しかし、先
輩校友たちが立ち向かつたよ
うに、北海の教育で培われた
「百折不撓」の精神を忘れる
事なく、たくましく乗り越え
ることを切望いたします。

「校友の集い」のおさそい

旧友再会「眠れる獅子よ 目覚めよ！」

実行委員長 高27期 小林 和市



私が、今年度「校友の集い」の当番となり、同窓生と打合せの機会が増え、打合せが終わる度に、在学中によく歌った、校歌や応援歌を思い出し

ます。此の程の「校友の集い」は、赤い心の猛者の先輩、後輩と共に、1日だけでも、元気のいい、北海健児に戻りたいと思っております。



2006年度「校友の集い」から

私が、小学校・中学校・高校・大学で、学んだ中で最も影響を受けたのは、北海高校在学中に学んだ事だと思えます。もし、北海高校以外の高校に入学していたとしたら、まったく違った人生を歩んでいた気がします。どのような人間に、またどのような人生を歩んできたのか、イメージすら湧きません。それほど、私にとって影響力、人間としての基礎を築いてくれた3年間と思います。特に、北海高校で叩き込まれた、挨拶・礼儀・精神力は、50歳を過ぎた今、私の基本です。

応援団が無い今、校歌や応援歌を聞く機会も無いと思いますが、在校生の皆さんも生徒手帳に書いてある校歌、応援歌に目を通していただければと思います。

二〇〇七年 校友の集いのご案内

日時	平成19年5月25日(金)
受付	午後5時30分より
校友会総会	午後6時より
懇親会	午後6時30分より
会場	6000円

プリンスホテル国際館パミール
札幌市中央区南3条西12丁目
TEL(011)241-1111

校友の集いを 終えてーお礼ー

高校26期
太田 哲磨

再確認いたしました。

同じ学舎に集う者たち学生、先生、校務に携わる人たち、そして卒業生が一丸となって集まることが北海の原点である北海魂ではないでしょうか。今年は一〇〇七年の北海校友の集いが高校27期の卒業生によって開催されます、同期の仲間を集め参加者はもちろん、自分たちの心に残る校友の集いを開催していただきたいと思えます。

二〇〇六年北海校友の集い
を無事終わらせていただき本当にありがとうございました。

二〇〇六年北海校友の集いを終えて我々高校26期の仲間も感動と達成感で33年前の学生時代に戻った気持ちでした。これも偏にご協力いただきました先輩諸兄並びに後輩の皆様との並々ならぬご尽力の賜と感謝申し上げます。

参加登録も全国各地より800名以上という人数が集まりました。北海という名の元に集まれる伝統をこれからも大切にしようと思う気持ち



母校だより

伝統受け継ぎ、新たな発展を

北海高校教頭 北明 邦雄

共学八年目が終わろうとしている。少子化のあおりをうけ、募集定員を満たす私学が数校しかない「冬の時代」に、北海高校は結果的にその心配から解放されてきた。今年も三〇〇〇名近くの受験生が見込まれる。その意味で、「一五年目の決断(共学移行)」はとりあえず正解だったといつてよいであろう。



2006年北海祭のステージ



共学移行にあたって、私たちは「人間教育」の上に「勉強にも、部活にも、国際交流にも」、力を入れようと確認しあった。

しかし、共学の八年は予想を超える変化をもたらしていることも事実である。まず入

学生の「学力」が上がった。受験生が多いことの当然の結果である。高い進学目標をもった生徒が入学してくる。時代も進学熱をあおる。その反対にキツイ運動を避ける傾向がある。北海高校でも、一般受験生で運動部に入る生徒の数が極めて少なくなった。運動部振興は新たな課題を抱えている。

国際交流はどうか。カナダの姉妹校LCI高校との交流・中期留学、教員の相互派遣、そしてブロック大学へ

の語学研修。それぞれが大きな成果をあげているが、圧倒的に女子に人気があるのも特徴である。

「質実剛健」「百折不撓」の精神と、一四四年の伝統を踏まえて掲げた生徒像(「独立心をもった生徒」「信頼される生徒」「生きる力を備えた生徒」)の追求は、着実に実践されている。三六キロ強歩の支笏湖遠足も健在である。

伝統を承継しつつ、時代の要請や生徒の変化にどう柔軟に対応していくか、北海の

新たな発展を構想することが求められている。

※昨年の『校友だより』47号に「若松勉さんがMVPをとった時の記念パネル」と書きましたが、「首位打者をとった時」の間違いでした。また「野呂栄太郎・塩澤富美子記念の樹・石碑」には、島木健作(北中18期)夫人のご理解の下に生まれたお金も使われています。謹んで誤りを訂正し説明の不足を補わせていただきます。

新任紹介

数学科

本間

貴先生



は数学科です。部活は硬式テニス部(女子)の顧問をしています。

高校生のときに、非常にわかりやすく学力のつく数学の授業をしたという思いから教師になることを決意しました。北海高校で、生徒のやる気からよい刺激をうけ、高校生のときの思いを再確認することがあります。

今年度から縁あつて北海高校にお世話になることになりました。担任は一年六組、担当教科

これからも向上心を忘れることなく、生徒とともに成長していきたいと思えます。

二〇〇六年度進路決定状況

(中間報告)

・北海高校進路指導部長 山崎 省一

第五十九期生(共学六期生)

三十四名が卒業の時を迎えた。共学移行以来、最も少ない卒業生数である。進路をとりまく環境は変化が激しいものの、今年も教職員的一致した指導のもと、比較的、安定した形で進路の選択と決定がなされたように思われる。

就職内定者は五名。就職希望者の数が少ないこともあり、概ね順調に決定することができた。しかし、道内の就職状況の厳しさは変わらず、今後ともO・Bの皆様のお力添えをお願いしたい。

大学進学希望者のうち推薦入試、A〇入試で約八〇名が既に合格している。北海道教育大学、公立はこだて未来大学など国立大学には五名が合格。昨年末には北海学園大学・北海商科大学への推薦受

験者約八〇名も決定している。センター試験の出願者は一五九名であった。今後、センター試験、私立の一般入試、国立の二次試験と続くが、それぞれの目標実現に向けて健闘を祈りたい。(昨年は、北大十五名をはじめ、め国立大学に六六名、早稲田、慶応など道外の難関私立大学にも多数の合格者をだすことができた)また、浪人組の受験生も多く、百折不撓の精神でよい結果をだしてくれるものと思っている。

専門学校へは約三〇名が進学を決定している。実に多様な分野に学びの場を求めているが、医療・衛生系統への進学者数が目立つ。難関といわれている看護学校をめざしている者も少なくない。

二〇〇六年一月二二日現在、東京女子体育大学一、日本体育大学一、日本女子体育大学一、山梨学院大学一、愛知学院大学一、関西学院大学二、大阪経済法科大学一、仙台大学一、上武大学一、高野山大学一、ノースアラバマ州立大学一。

在の進路決定状況・合格状況は次の通り。

《就職》

伊藤園一、DNP北海道一、イコマ北海道一、JALグラインドサービス一、全生医研一。

《大学・短大》

北海道教育大学三、公立はこだて未来大学二、北海学園大学(公募制)一部一、・二部八、北星学園大学一、天使大学一、北海道医療大三、北海道薬科大学二、札幌大学七、札幌学院大学三、浅井学園大学五、北海道工業大学一、酪農学園大学一、札幌国際大学一、北海道文教大学二、旭川大学一、明治大学四、中央大学三、青山学院大学一、専修大学二、創価大学二、駒澤大学一、国士舘大学二、東洋大

《専門学校》

北海道ハイテクノロジーズ専門学校一、大原法律公務員専門学校二、吉田学園公務員専門学校二、北海道芸術デザイン専門学校一、札幌スクールオブビジネス一、札幌ビジネスアカデミー専門学校一、札幌デジタル専門学校一、札幌ベルエポック美容専門学校一、札幌ビューティーアート専門学校二、西野学園札幌リハビリテーション専門学校二、日本福祉リハビリテーション学院一、北海道リハビリテーション大学校一、札幌医療科学専門学校一、経専学園放送芸術専門学校三、経専調理製菓専門学校一、光塩学園調理製菓専門学校二、札幌青葉鍼灸

専門学校二、北海道柔道整復専門学校二、文化服装学院一、インターナショナルエアアカデミー、ヒューマンアカデミー札幌校一。

北海の名を語る

身元不明の電話に

ご注意ください!!

最近、北海高校あるいは北海高校事務の〇〇と名乗る身元不明の人物から「名簿作成のために携帯電話を教えてください」旨の電話が卒業生の自宅にかかってきたとの報告がありました。本校では事務部も含めて、そのようなことは一切行っておりませんので御注意下さい。

事務局では校友の皆さんにお願いをする場合は、正式な文書を以て行うことになっていきます。くれぐれもお間違いのないようお願い致します。

(校友会事務局)

〈二〇〇六年〉

運動部の活動状況

運動部長 齊藤文雄

全校生徒、諸先輩、全教職員の大きな期待を胸に、平成十八年度も運動部員達は、地区大会に臨み、無念にも破れた者、全道大会に駒を進め、更に全国大会の晴れ舞台で活躍した者、全ての参加者が全力で各試合に臨み、それぞれの力を思う存分発揮したと確信している。その中であつて、高体連全国大会に駒を進めた空手、柔道、剣道、弓道、サッカー、新体操、水泳同好会、アイスホッケー、フィギュア同好会の各部が、日頃の練習の成果を発揮した。

本校の運動部は、各部の顧問、部長が中心となり、部数の多さに対して、練習場が不足している等といったハンデを乗り越え、日々の辛い練習に耐え、共に和して、マナーを重んじ、フェアに戦った

姿が印象に残る。

残念ながら、全国大会での卓越した戦績は、僅かに、柔道部の佐々木康介が全国総体五位、全国総体フィギュア競技女子総合六位の実績が光つたことのみにとどまったが、他の三年生の健闘も、後輩達のこれからの奮闘に引き継がれ、今後の活躍となつて必ずや実るものと確信している。

それが、本校の「百折不撓」の精神であり、「質実剛健」と謳われる所以である。負けて挫けず、苦難に弛まない精神こそ、北海健児に最も期待する鍛錬の成果である。

次に各部の全国大会の足跡をあげたい。

【柔道部 男子】

六〇kg級 佐々木康介
全国総体五位



インターハイ全国大会に出場した新体操部

九〇kg級 山口 真史
全国総体、国体出場
一〇〇kg超級 相沢 辰樹
国体出場

【サッカー部】
西村 啓 兼子 到
福永 敦史 小泉 匡
国体出場

【弓道部】
全国総体男子団体出場

【剣道部】
中村 優里
全国総体出場

【柔道部 女子】
五七kg級 熊谷 美穂
全国総体出場

【新体操】
全国総体団体出場
岩倉 歩
全国総体個人出場
国体出場

【水泳同好会】
一〇〇・二〇〇m バタフライ
宮田 雄大
全国総体出場

【軟式野球部】
全国高等学校軟式野球
選手権大会出場

【フィギュア同好会】
佐々木慎太郎 吉田あかり
石上 恵理
全国総体女子総合第六位

なお、その他では、社会人との交流も盛んに行われ、柔道部では、実業団チームとしては一位にランクされ、全日本各大会で大活躍している多数の選手を抱える旭化成との交流も行われた。

更に、本校フィギュアスケート同好会が、全国的な活躍が認められ、今年度、札幌市市民スポーツ賞を受賞する榮譽に輝いたことは賞賛に値する。

〈二〇〇六年〉

文化部の活動状況

文化部長 新田 修

今年度の文化部の活動は、めざましいものがあった。概略は次の通りである。今後のさらなる活躍を望みたい。

新聞局

今年度は「北海道高校新聞」一四六号から一四九号まで年間四号発行。部員七名は取材編集などに精力的に取組んだ。一〇月、北海道新聞社主催全道新聞コンクールに一四七号を出品し、優秀賞(全道三位に相当)を受賞した。

放送局

学校祭で体育祭などの学校行事や、朝放送、昼放送を担当。また、高文連放送コンテスト、NHK杯放送コンテストに向けて、日々精力的に練習に励む。

吹奏楽局

今年度私たちは「最響揺心」の言葉を中心に据え精力的に活動してきた。北海道高校校友会の方々、協賛に協力していただいた方々のおかげで第3回定期演奏会を開催することができたこと、この紙面を借りてお礼申し上げる。

弁論部

高文連全道大会に50年連続出場を果たす。前部長の松本奈津美が第51回文部科学大臣杯全国青年弁論大会で最優秀賞を受賞。副部長の戸田智美が今年の夏に開催される第31回全国高総文祭に出場権を獲得。

写真部

支部大会は全員で上位を独占。全道写真展でも多くの入賞を果たし、その中から真鍋

的に協力した。

文芸部

例年通りの合評会、部誌の発行に加え、学校祭でも文芸誌を発行。石狩支部文芸研究会に参加し、石田の俳句が佳作に入選。全道高等学校文芸研究会にも参加して、他校の文芸部員等と交流を深めた。

美術部

第48回学生美術全道展―会員(十六名が)入選、優秀賞は太田なつ香、その他奨励賞が二名。第18回有馬青少年絵画展―部長の郡真央が奨励賞、その他5名が入選、二月に大丸藤井セントラルにて校外展第97回どんぐり会展が開催された。

コンピュータ部

毎週月曜日から金曜日まで、コンピュータ実習室及び部室で活動している。今年度は文化棟に部室を獲得してコンピュータも購入し、放課後、部員はインターネットの他様々な目的で活動している。

JRC

あしなが育英会募金、赤い羽根共同募金などへの協力、鴨々川の清掃、養護施設への支援等のボランティア活動を中心に取り組んだ。また、他団体が主催するチャリティカレンダリーサイクル市へ全面

演劇部

演劇部は、日常的には発声練習等の基礎練習をし、年2回の公演(学校祭での公演と高文連での舞台)に向け活動している。教育文化会館で行

われる高文連では、音響・照明・舞台装置・役者・舞台監督・演出担当へ分かれ、本格的な劇を仕上げていく。

将棋部

現在、二年生1名、一年生5名の計6名で活動している。活動日は放課後、週2回。活動内容は練習対局と将棋ソフトを用いた研究、さらに書籍による戦法や定跡、手筋などの研究をしている。今年度の春の全道大会では個人戦でベスト8まで進出した。

合唱部

今年度は19名。うち男子部員が7名に増え混声編成になる。札幌合唱連盟からも飛躍的なレベル向上に対し称賛の声を頂戴した。高文連参加、NHK合唱コンクール北海道全日本合唱コンクール北海道支部大会銅賞。

英語研究部

英語研究部は少ない部員ではあるがアットホームな雰囲気です。活動内容は主に英検対策や英字新聞購読等である。又、スピーチコンテストへの参加も目標としている。今年は準備不足だったので次年度の課題となる。

一片冰心在玉壺

退職を迎えて

杉本和紀

北海高校との出会いは、昭和四十年三月のある日、大森初太郎校長先生が大学研究室の恩師を訪ねて来られ、社会科教師の紹介を依頼された時に始まりました。今、退職の時を迎え、この採用にあたっての偶然性を感じながらも、何物にも代えがたい充実した四十二年間の教員生活を送らせていただいた北海高校との出会いに感謝の気持ちで一杯です。

共学の経験しかない新米教員にとつて、三年生（高校十八期生）の教室に入る時の足が震えるほどの緊張感は終生忘れることができません。先輩諸先生の暖かい庇護がなければ途中で挫折していたのではと思う時もあります。

学級担任十七回、部活指導二九年間（ラグビー部一年・



1999年、共学元年の入学式で挨拶する杉本校長

軟式野球部十年・硬式野球部十八年）を経験して、平成七年四月に校長職を拝命してから十二年の歳月が過ぎました。

とりわけ校長在任中、少子化社会を迎えて私学を取り巻く環境が一段と厳しくなる中、校友諸兄の願いと狭間に苦悩しながらも北海の新たな飛躍を期して共学移行に取り組んだことは忘れることができませぬ。今、この大きな改革が新しい北海の歴史を築きつつあると確信しております。

社会の各界で大活躍される校友諸兄からたくさんのお励ま

しを賜りました。すばらしい生徒たちからエネルギーをもらいました。そしてこれまでご指導を頂いた先輩諸先生と職場を共にした教職員に心から感謝を申し上げます。

「一片冰心在玉壺」の漢詩の一節に心境を託して北海高校に別れを告げます。

ありがとうございました。

杉本校長

私学功労者賞を受ける

杉本校長は、昭和四十年三月三十一日北海道学芸大学札幌分校を卒業し、同年四月一日より本校に社会科教諭として勤務、長年に亘り本校生徒の社会科教育に尽力された。一方進路指導部長として特進コースの導入に先鞭をつづられた。

また、先生は平成七年四月に校長に就任。本校は平成十一年、百十三年の男子校としての歴史にピリオドをうち共学に移行する大変革を行ったが、先生は校内の意見をまと

める上で強力な指導力を発揮された。

更に先生は、長年に亘る本校軟式野球部部長を経た後に、本校硬式野球部部長として平成六年夏の甲子園大会において、卓越した指導力を発揮され同部を準々決勝進出に導かれた。また、同年名古屋で開催された国体では優勝を飾り、硬式野球部は北海道新聞スポーツ賞を受賞した。

この度の受賞は、先生の長年に亘る私学教育発展への功績が認められたものである。

波瀾万丈人生

新田 修



三月で定年退職。ピンとこないと言おうか、はたまた受け入れ難い往生際の悪さとも言おうか。正直「シンジラレナイ」のである。

母校での四十年間、それはまさに波瀾万丈の人生であった。二十代では、ストレスからくる十二指腸潰瘍による入院の繰り返しを五回。三代から四十代にかけて、担任時代の十年間で行った自家用車による全道規模の全員家庭訪問。男女共学時代に入つての五十代での生活指導部長としての眠れぬ日々の連続。辛い想い出ばかりが脳裏をかすめていく。

退職するに当たって

私とレスリング

早坂雄二



昭和四十二年、時間講師と

して母校の教師となり昭和四十三年から専任教師として今日まで勤めさせて頂きました。長いようで短い四十年間でした。
昭和四十三年、レスリング部を木村先生から受け継ぎ、以来三十八年間、試行錯誤しながら部員とともに指導練習

今、冷静に過去を振り返ってみると、(まだ本当に冷静になれているかは疑問であるが)そこには背伸びした虚栄の塊のような自分が存在していたのではないかと思われて仕方ない。
喜怒哀楽をもちろに出し、義理人情の世界に酔いしれる。うまく進まない実践について同僚と酒をくみかわし、深夜まで語り合い、体調を崩すこともあった。そんなだめ人間が最後まで勤めあげることができた原動力は何だったのか。それは家族のそして同僚や多くの教え子の愛と支えがあったからこそだ、と思つてい

新しい制服を身にまとい、緊張しながら迎えた入学式から今までの時間は早く、これまでのの中で最も多く深く学んだ多くの人に会い関わることもが、人間的に成長できたきっかけでした。次に「部活動」。北海高校は部活動の数が多く、素晴らしい功績をあげる生徒が沢山いました。そして最後に「歴史」。明治一八年から始まった我が校は、建学精神である「質実剛健・百折不撓」を一二二年も大切に、歴史と共に地域の人々から愛される学校でした。
そういつた北海高校で私たちは、正しい判断力を培い責任を重んじ、積極的に行動するということを学びました。北海高校の先生は時に厳しくもありましたが、今の世の中での事件などを見れば、その時、その場面で怒られるということは必要なことだったのだと思います。
私たちはこれからそれぞれ別の道へ向かいますが、真の意味での「生きていく力」を自然と身につけていけるこの学校で三年間過ごせたことを、とても誇りに思います。それを気付かせてくれた先生方や友人、両親に感謝し、これからも築いてきたものを大切に、更に成長していきたいと思えます。

〈第59期卒業生あいさつ〉

「生きていく力」を身につけて

前生徒会長 中島四季穂



だ三年間でした。
北海高校の他校に負けない特徴は、まず「人数」。この人数の中でそれぞれが異なつ

た多くの人に会い関わることもが、人間的に成長できたきっかけでした。次に「部活動」。北海高校は部活動の数が多く、素晴らしい功績をあげる生徒が沢山いました。そして最後に「歴史」。明治一八年から始まった我が校は、建学精神である「質実剛健・百折不撓」を一二二年も大切に、歴史と共に地域の人々から愛される学校でした。
そういつた北海高校で私たちは、正しい判断力を培い責任を重んじ、積極的に行動するということを学びました。北海高校の先生は時に厳しくもありましたが、今の世の中での事件などを見れば、その時、その場面で怒られるということは必要なことだったのだと思います。
私たちはこれからそれぞれ別の道へ向かいますが、真の意味での「生きていく力」を自然と身につけていけるこの学校で三年間過ごせたことを、とても誇りに思います。それを気付かせてくれた先生方や友人、両親に感謝し、これからも築いてきたものを大切に、更に成長していきたいと思えます。

卒業生の動向

タカアンドトシの「タカ」

鈴木崇大君高47期大ブレイク



「欧米か」で、現在最もブレイクしているのが「タカアンドトシ」であろう。その相方の「タカ」こと鈴木崇大君は北海高47期の卒業

生で、その彼を二・三年生の時担任した。崇大君は中学時代からお笑いの世界を夢見ていて、中学時代に転校してきた「トシ」君との出会いをき

タカアンドトシ。左側がタカ(北海道新聞より)

つかけにこの世界に飛び込むことになったようだ。高校三年の進路相談の時に、高校二十期卒業の落語家である三笑亭夢之助君に会わせ、その際、色々なアドバイスを受け、た事もこの夢の実現に大いに役に

つたものと思う。性格的に真面目な彼は、サッカーを好むスポーツマンであり、周囲を笑わせる人気者でありながら、その反面、恥ずかしがり屋で、持ち前のお笑いのセンスを直ぐには出しきれない事もあった。卒業当初、お笑いの世界へ進むことに心配もしたが、その後彼自

身の努力がものをいい、今日の座にまで昇りつめた事には敬意を表したい。これからは、自分の芸に溺れる事なく、周囲から好かれ、信頼され常に探究心を怠ることなく息の長い芸人に成っていつてもらいたいものである。(横山英記)

下谷洋貴氏(高50期)

司法試験の難関を突破



下谷洋貴氏は現在、最高裁判所・司法研修生として千葉県で研修中です。

同氏は、北海高校を卒業して、北海道大学法学部から北海道大学の大学院に進み、三度目の挑戦で司法試験に合格しました。合格率数%の難関を見事突破した努力は賞賛

に値します。一年間の研修期間が終了後は札幌に戻り、法律事務所で活躍したいと考えています。

高校時代は、小学校から続けていたアイスホッケー部に入学し、日夜精進の末、全道全国に駒を進めました。部活動の中で学んだ札幌と規律・「和」を重んじる心など、北海高校の基本精神「百折不撓」が彼を大きく成長させたと言えます。今後の一層の活躍を期待しています。

〈東京支部長〉

菊地健吉氏の

ご逝去を悼んで

校長 杉本 和紀

伊藤敏夫事務局長から菊地支部長の訃報を知らされ、絶句してしまいました。

東京支部は橋本淳一前支部長のご勇退後、後任支部長が決まらず活動が停滞してしまいました。校友会はもとより母校も東京支部の再建を渴望しておりました。そんな願いを受け止めていただいた高校2期の皆様が一致して推薦されたのが菊地先輩でした。校長として早速お願いに参上しましたが、紳士で誠実なお人柄を真つ先に感じました。まさに、私が理想像として描く北海健児そのものでした。

北海高校の哀歌

「藻岩おろしがヨ
身にしみわたるヨ
ベスト尽くしてヨ

戦いたがヨ」の一節に託して、東京支部の再建にご尽力された菊地先輩のご冥福をお祈りいたします。

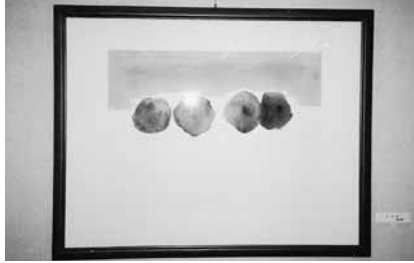
栃内忠男先生(北中39期)

個展開く



二〇〇六年十一月六日(月)十一日(土)に札幌時計台文化会館A室にて栃内忠男先生(北中39期)の個展が開催されました。

時計台ギャラリーでの個展は四年ぶりで私はとても楽しみにしていました。二日前の文化の日に陳列が行われ、その時、高校二十期卒業の福島孝寿さんと山本恒二さんが手伝いに来てくれました。展覧会場は大作が多かったのですが、とても美しい会場になりました。



展覧会作品より「リンゴ」

など身近なものをテーマに出品されましたが、最近、特にテーマにされている「窓」シリーズもとても魅力的でした。先生の作品は、身近に存在するものを平面に絵画化しています。そこには、造形的な構成とハーモニーのある美しい色彩がより画面を魅力的なものが存在しています。自然をよくとらえてそこにある根本

的な要素を抽出しているのですが、いつの間にか長い時間鑑賞してしまうのです。

私は今回の展覧会を観て非常に刺激を受けました。十二月七日で先生は八十三歳になられました。絵はだんだん若々しく、フレッシュな作品が次から次へと生まれています。これからもお身体に留意され、益々すばらしい作品を発表していただきたいと思います。(芸術科・川本泰博記)

齋藤制剛君(高48期)

全日本体重別で

三連霸



北海高校四十八期の卒業生、齋藤制剛選手(旭化成)が、講道館杯全日本体重別選手権

男子九十キロ級で、三年連続四回目の優勝を果たした。四月の全日本体重別決勝でも同じ相手の矢崎選手を小差で破って優勝している。それ

だけに、相手の闘志はさまざまに、齋藤選手は受け身に回る試合展開だったが、延長三分過ぎから攻勢に転じ、「思い切りぶん投げ」での優勝。

これで、二年連続の国内2冠となる。「疲れで」心が折れそうになつたけど、苦勞を思い出して力を振り絞った」と会心の勝利を喜ぶ齋藤選手、百折不撓の校訓を確かに実行している。

(高45期)

堀田選手(巨人)

現役を引退



巨人・堀田一郎外野手が

昨シーズン限りで現役を引退した。昨年十月二十三日の新聞報道によれば、秋期練習がスタートした川崎市内のジャイアンツ球場を訪れ、原辰徳監督ら首脳陣に挨拶をしたとのことである。堀田選手は北海高校四十五期の卒業生。在学中は学習に熱心に取り組み成績も

日本人相手だと無類の強さを発揮している齋藤選手だが、不思議に国際大会では持てる力を出し切れていない。国内対策はもう卒業して、外国人対策を本格化させて、是非とも今年の世界選手権出場を成し遂げようと、新たな目標に向けて更に力を付けている齋藤選手である。

優秀であった。卒業後、中央大学に進み、一九九七年ドラフト六位で巨人軍に入団した。

大西監督に鍛えられた堅実な守備と粘り強い打撃に定評があり、チーム内での人望も厚かったという。通算成績は十年間で二百四十三試合に出場し、二百十五打数四十三安打、打率二割ちようど。十八打点で、四本塁打であった。

堀田選手が在学していた時期、野球部の部長だった杉本和紀校長先生によれば、堀田選手は現役を引退した後、将来を嘱望されて読売巨人軍球団職員に転身する予定とのことである。新たなステージでの活躍が期待される。

卒業生の動向

支部・同期会の動き

〈道南支部〉

共学一学生も参加

平成18年11月22日湯川温泉湯の浜ホテルにて今年度の総会懇親会を開催しました。出席は15名で北中34期から高校54期(共学一学生初の女性会員)までの幅広い会員が出席し和やかなうちにも新しい息吹きを感じる集まりとなりました(例年出席20名程)。道南支部は道南(渡島松山)在住と元在住会員のOBに声をかけて構成しています。支部



北海校校友会道南支部

役員には高校2期から42期迄幅広く担当してもらい、それぞれ新入会員発掘や会員相互の結束の力になっています。



3年ぶりに総会(西日本支部)

7月15日(土) 大阪梅田の阪急ビル19Fの関西文化サロンに於いて約3年振りに西日本支部総会を開催した。総会に引続き懇親会を開催し参加者が10名と少なかつたが内容は充実したものでした。予定の2時間もあつという間に終わり、その後は名残おしみ大ホールにて数名残り一刻を過ぎし再会を約し散会しました。参加者は中学38期41期43期

今迄支部を盛り立ててきた北中諸先輩の意志を引き継いでこの地に北海の存在を確かなものにすべくお互いOBの繋がりを大切にして纏まりの良い支部を目指しています。(道南支部長 滝本 洋一)

〈恵庭支部〉 結成20年目迎える



福屋支部長

発足当時、現在の当支部長である福屋脩三先輩(高校7期)から恵庭にも北海校々友会の恵庭支部を設立しようと

(2名)高1期・高2期など高齢者が多く若い人が少ないのが残念でした。

本総会開催に対して校友会本部・東京支部長室蘭支部長より祝電を頂き又杉本校長よりのメッセージも頂き本当に有難うございました。今後の課題はもう少し若い人をいかに出席してもらえるかです。(西日本支部長 佐々木哲明)

のお話があり、恵庭在住の卒業生約100名に案内を行い、昭和62年1月16日に北海校々友会恵庭支部設立総会が開催され恵庭支部が誕生しました。総会では支部長に福屋脩三氏が就任し、20年を迎えた現在も支部長として中心的リーダーとして活躍されております。

当支部の最大の事業は、設立当初より行っている母校北海高校野球部と地元高校との親善野球大会であります。平成元年からはさらに苦小牧工業高校、その後、駒大岩見沢高校、滝川西高校、小樽北照高校等北海道強豪のチームを招待し毎年実施している事業です。

このように長年の地域スポーツ活動による功績が認められ、恵庭支部長として平成18年11月3日に恵庭市スポーツ功労者(スポーツ振興賞)を受賞されました。

今後とも支部の目的である会員相互の親睦を図ると共に、母校の文化的、社会的向上発展のため努力していきたいと思っております。(恵庭支部事務局 上野 光洋)

〈釧路支部〉

和やかに歓談

釧路支部の近況は現在名簿上は約九十名の会員が居り、支部の悩みは会員の高齢化そして新しい会員が増えないことです。その中で平成十八年十一月二十三日釧路市「交流プラザさいわい」に於いて、



釧路支部『校友の集い』を開催しました。校友会会長倭昭三様の出席を頂き、会員十一名の参加を得て和やかに皆んなで二次会、三次会を楽しみました。(釧路支部支部長 高岡 博)

支部・同期会の動き

(高7期) しみ出た年輪の味わい



「同期会これが最後の案内になるかもしれないぞ。」こんな調子で同期全員に開催案内が郵送された。

卒業から51年、生・病・老・死は誰にも避けがたいことではあるが、毎年数名の仲間がこの世を旅たち、一人二人と名簿から友人の名が消えていく、誠に慇懃に堪えない。

昨年我々の同期会は「卒業(昭和30年)後50年で打ち止め」と決まっていたが、同期会の解散を惜しむ一部の輩から「7期同期会は永遠に不滅

だ。」との声が上がったから止まらない。一旦は打ち止めになった7期同期会は復活したのだ。今回は最終組である3年7組が幹事になって、平成18年12月6日アパホテルで開催。恩師である栃内忠男先生と松竹谷智先生が来賓としてご出席された。37名の参加であった。遠くは利尻富士町から中瀬正君や函館市から福田和夫君が参加された。釣本治身君の名司会が始まり、幹事代表は長谷哲男君が挨拶した。他に幹事は金子暢行君と渡部弘己の4人が担当した。

栃内恩師からは終戦後の食糧難時代、学校グラウンドで収穫した芋の配給の話、松竹谷恩師からは就任早々の担任になった懐かしい話が夫々披露され、数十年のタイムスリッパは時間のたつのを忘れさせてくれた。毎年開催のために新鮮味(?)はないが、ただ変わり行く、それなりの年齢に相応しい貫禄(風貌と肥満体型?)はお見事である。互いの会話は健康や病気の話しであるが、今ではそれが何となく自然に受け入れられ、全然違和感を感じないのが不思議である。それほど同期会の話題というものはしみ出た年輪の味わいがあるのだから「信じられない」。

懇談は終わりを忘れたかのように尽きない。席を立つ者もない。最後は来年の幹事

は1組が担当であることを確認して、互いの健康を気遣いながら来年の再会を約束して散会した。

実は、このホテルには後輩が社員として勤務し活躍されており、会費の割には大変厚遇であったのでお礼を申し上げたい。また偶然にも、この日は北海の卒業生のウエイトレス私が同期会の会場を担当してくれた。彼女たちのマナーの素晴らしさはさすがであったことを北海の名譽のためにも同窓生諸兄にお知らせしたい。陰ながら母校の発展を祈るものである。(渡部弘己)



(高17期) 奨学協力金を寄贈

今年で121年の歴史と伝統を誇る、我が母校北海高校は、男女共学になって8年目を迎えています。伝統校の名門北海に学んだことの喜びをかみしめたい、そんな気持ちで久々の北海高校17期会をホテルライフオート札幌で開きました。母校から北明邦雄教頭、本藤芙佐江事務長、そして、卒業生2組担任の吉田幸先生、3組担任の吉田川平先生を御招きしての楽しく有意義な17期会でありました。

この度の17期会は、出席者33名でありました。10年前の17期会に

比べると出席率が下がり、少々さびしい感じもありましたが、出席者は頗る元気で若いなど感じさせないものがありました。また、今回の17期会では、北海校友会の奨学金に協賛する趣旨が提案され、奨学協力金の寄贈が行われました。

我々北海高校17期生は、今年で60歳、還暦となります。今後は、定年退職など、人生において大変な時期を経験していくこととなります。こんな時だからこそ、校友や恩師と交わり、お互いに学び、知り、明日への活力をもらうためにも、次回の17期会での元気な再会を約束して、和氣藹藹のうちに閉会いたしました。(坂下 巖)



(高11期) 50年の記念同期会

我々11期の卒業五十周年は平成21年ということなのですが、もうすでに38名が逝き、体調を崩している者も増えてきていること等から、三年早めて昨年の11月11日、出らぬが功の50年の記念同期会を行いました。参加者80名の目標も道外からの七名の参加で叶えられ盛大な会となりました。恩師は残念ながら松竹谷先生お一人でしたが、当時と何ら変わらないハリのある先生の声で皆、北海高生にタイムスリップ、広い会場も旧交をあたため合う笑いの渦と化しました。会の今後については、①毎年開催は止め、校友会への参加で交流していこう。②七十歳の祝いの会はやろう、ということが確認されました。最後に、互いの健康を念願し、再会を誓い、誇り高い校歌を合唱し、力一杯の「フレイフレー」北海で会を終えました。(西岡 譲)

平成17年度 北海校校友会決算書 (平成18年3月23日現在)

一般会計

Table with 6 columns: 項目, 予算, 決算, 増減, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 在校生会費, 終身会費・年会費, 雑収入, 合計.

Table with 6 columns: 項目, 予算, 決算, 増減, 摘要. Rows include 新校友歓迎費, 印刷費, 同期会支部総会補助費, 会議費, 事務運営費, 通信費, 慶弔費, 旅費交通費, 生徒会機関誌費, 積立基金, 予備費, 振込手数料, 次年度繰越金, 合計.

☆次期繰越金 北海銀行豊平支店

Table with 2 columns: 普通預金, 定期預金. Values: 495478, 667,584, 0375624 (0023), 2,000,000, 2,667,584.

平成17年度 特別会計決算報告書 (平成18年3月23日現在)

校友の集い決算書

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 会費, ご祝儀, 広告料, 合計.

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 会場費, アトラクション, 印刷費, 記念品費, 雑費, 合計.

5,368,000-4,269,853=1,098,147

積立基金

Table with 4 columns: 項目, 金額, 項目, 金額. Rows include 前年度繰越金, 一般会計より, 総会残, 利息, 合計.

Table with 4 columns: 項目, 金額, 項目, 金額. Rows include 普通預金, 定期預金, 合計.

奨学金維持会費

Table with 4 columns: 項目, 金額, 項目, 金額. Rows include 前年度繰越金, 維持会費, 利息, 合計.

Table with 2 columns: 普通預金, 合計. Values: 0538476, 3,338,445.

平成18年度 北海校校友会予算

Table with 3 columns: 項目, 予算, 摘要. Rows include 前年度繰越金, 在校生会費, 終身会費・年会費, 雑収入, 合計.

Table with 3 columns: 項目, 予算, 摘要. Rows include 新校友歓迎費, 印刷費.

Table with 3 columns: 項目, 金額, 摘要. Rows include 同期会支部総会補助費, 会議費, 事務運営費, 通信費, 慶弔費, 旅費交通費, 生徒会機関誌費, 積立基金, 予備費, 振込手数料, 借入金返済, 次年度繰越金, 合計.

平成16年度 財産目録

Table with 2 columns: 流動資産, 固定資産. Values: 2,075,822, 20,000,000, 合計 22,075,822.

現金出納簿および預金通帳、定期預金証書並びに関係書類等と照合の結果正当に経理されていることを、確認致しました。

平成18年3月23日

北海校校友会会長 倭 昭三 殿
会計監査員 橋本昌治
会計監査員 早坂一雄



二〇〇六年には、教育や子ども関連の出来事が相次いだ。いじめ自殺が多かったことや教育基本法改善など、残念なことも続いた。

その一方で、北海道三笠市が学校給食完全無料化に踏み切ったこと、東京都教育委員会による「日の丸・君が代」の強制が東京地裁で違憲・違法と判断されたことなどが注目される。

政界では、小泉首相の後を受け、安倍政権が足立し、「私」が総裁である限り、自民党が古い自民党に戻るということは決してない」と語った。信念を貫いてほしいものである。また、防衛庁の「省」昇格で、一体何がどう変わるのか注目される。

また、社会問題として、原油価格の高騰による灯油・ガソリン代値上げによる家計への影響も心配される。また、飲酒運転に起因する悲惨な事故。当然と言えば当然だが、世論の後押しもあり、厳罰化の改正法案が公表された。

平成十八年

《高校第59期》 校友会幹事

- ▽一組 齊藤 涼一 青山麻里亜
▽二組 井畑 秀剛 郡 真央
▽三組 上田 智史 宮 彩子
▽四組 中島 悠希 ◎音道まりん
▽五組 稲實 辰朗 杉下麻希子
▽六組 平澤 弘道 小林 夕姫
▽七組 佐々木 由輝 ◎大島こず江
▽八組 酒井 貴法 ◎印代表幹事 駒井 友香

さて、本校の一年を振り返ると、社会の喧噪を余所に、至って平穏であったといえる。着目すべきは、昭和四十年以来本校に勤務され、後に校長として幾多の難局を越えてこられた杉本和紀校長が今年を限りに退職される。また、昭和四十二年に本校勤務以来長年に亘り生徒の育成に寄与された、新田修、早坂雄二両先生が退職される。特に、新田先生は、弁論部顧問として、今年度、部員が全国青年弁論大会で最優秀賞を受賞し、退職に華を添えた。